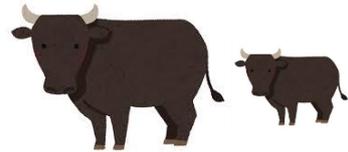


家畜衛生だより

令和5年4月発行 No.2
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

～効果を高める入牧準備について～

今年も入牧の季節がやってきました。放牧中の病気や事故を未然に防ぎ、放牧場で健康に過ごせるように準備しましょう！



○放牧馴致

放牧初期は環境の急変により牛の免疫力が低下し易い時期です。放牧初期を無事に過ごせるよう舎外環境、粗飼料に対する馴致を行いましょ。

牛の胃が青草に慣れるには **20～30 日** を要します！

○除角・削蹄・皮膚病治療

入牧中のけが等がないよう、除角・削蹄は前もって行うことが理想的です。また皮膚病がある場合は早めに治療し、放牧場で他の牛に感染させないようにしましょ。

○健康状態チェック

放牧予定の牛は特に注意して観察しましょ。健康状態に問題がある場合は、入牧を見合わせることも大事です。

<放牧馴致の具体例>

30 日前

- ・濃厚飼料を徐々に減らし、粗飼料（青草、乾草）を増やす。
- ・皮膚病の治療を行う。
- ・舎外に出し日光に慣らす。
- ・除角、削蹄を行う。

20 日前

- ・粗飼料（青草）を徐々に増やす。
- ・できれば昼舎外に出し、低温に慣らす。

入牧



○放牧効果を最大限得られるよう、早めの準備を心がけましょ！！

裏に続く



～ワクチン接種で牛の呼吸器病や 死流産を予防しましょう～

肺炎等の呼吸器病は、経済的損失の大きい病気の一つです！

- 牛の呼吸器病は、若齢牛で多発し、発育遅延や死亡等の原因となり、消化器病と共に経済的損失が大きい病気のひとつです。
- また、妊娠牛に牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）が感染すると、流産や奇形の子牛が生まれる場合がありますので、注意が必要です。



6種類の呼吸器病を予防するワクチンがあります！

- 牛呼吸器6種混合ワクチンは、牛伝染性鼻気管炎（IBR）、牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD1型、2型）、牛パラインフルエンザ（3型）、牛RSウイルス病、牛アデノウイルス病（7型）を予防するためのワクチンです。

自家保留牛や繁殖牛にもワクチンを接種しましょう！

- 費用は1頭あたり2,462円かかりますが、年1回のワクチン接種により呼吸器病の症状を低減できますので、是非接種しましょう。



**6種混合ワクチンは、庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
事業で接種することができます。**

お申し込みは、**庄内地区家畜畜産物衛生指導協会**
（0235-68-2151：庄内家畜保健衛生所内）
または、**かかりつけの獣医さんにご相談ください。**